

女性のご活躍を **応援** し
周困にもご理解いただき
情報提供をめざします



アンケート
ご協力の

お願い

第1回

2017年11月初旬
施設対象

第2回

2018年1-2月
就業者対象

今回は
第1回の
お知らせ

ご回答者様は第2回調査の人数調査票も
ご記入いただけますようお願い申し上げます。

「妊娠中のスタッフのMRI検査業務の方針や予定配置」 「非電離放射線の意識状況」について

非電離放射線って何ですか？

「非電離放射線」は0.3 THz以下の電波や赤外線、可視光線、一部の紫外線などが含まれ、周波数によって使用用途が異なります。一般的には、磁場（磁界）、電磁界、電磁波、電波と呼称されることもあります。

どうして調査を行うのですか？

非電離放射線は国内では労働安全衛生法の対象外ですが、使用する機器の進歩や海外動向、そして女性の診療放射線技師の皆様のご活躍を考慮すると、妊娠中のMRI検査業務のありかたについて国内で積極的に取り組む時期にきているものと考えます。

何を調べるのですか？

本調査では、まずは適切な安全性情報を発信することが必要と捉え、①「妊娠中のスタッフのMRI検査業務方針や予定配置など業務管理に関わる現況調査」と、②「非電離放射線のリスクやその管理をどう考えているかという意識調査」の2面からアンケート調査を行います。これらから、業務方針の選択根拠や、非電離放射線のリスクの受け止め方（一般的に非電離放射線のリスクの受け止め方は個人差があります）を調べます。

企画：

共同事業（50音順）

一般社団法人 日本磁気共鳴医学会

公益社団法人 日本診療放射線技師会

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会

公益社団法人 宮城県放射線技師会